

## 令和5年度 事業報告

少子高齢化が本格的に加速し、高齢者によるシルバー人材センターの一層の活躍が期待されています。そうした中、コロナ禍において取り組みを始めた女性の会“さくら咲楽”の活動や、農園事業などの独自事業と役員が手を組み、生きがいややりがいを感じ社会に参画していく環境の整備と、各委員会等が共同しガイドラインに基づいたセンターの事業運営の根本的な見直しをおこなうなどにより、会員が輝き続けられるセンターを目指し、令和5年度は様々な改革を進めてまいりました。

令和5年度のシルバー受託事業（請負・委任事業）の実績は、前年比3,101,727円減の206,234,245円。派遣事業は、前年比2,900,249円増の36,686,473円となり、受託・派遣事業の実績総合計は242,920,718円と前年比201,478円の実績減となりました。毎年過去最高を記録している“夏の暑さ対策”として、8月中の請負事業単発での草刈り・剪定作業の全面休止は、実績ではなく安全・適正就業を重視し取り組んだ結果によるものです。

会員実績数については、年度内退会者数は前年度と比べ半減し、令和5年度末会員数は前年度比22名と大幅増となる398名となりました。この会員増となった要因のひとつとなる退会者数の激減は、規程の改定や、委員の巡回指導による契約内容の再検討、会員との綿密なコミュニケーションを推進した結果、シルバーセンターが地域の高齢者の居場所としてありつづけていくことへの期待と展望が認められたのではないかと考えております。

センター運営の要となる委員会・部会等の会員組織活動について振り返ると、まず、安全管理・総務委員会は、『安全・安心なシルバー』の実現に向け、献身的に尽力してきたと同時に、理事会の諮問機関としての役割を十分に果たしました。また、女性の会“さくら咲楽”・広報誌編集

部会・会員互助会“つどいの会”・センター独自事業を推進するグランビア委員会での活発なシルバーの普及啓発活動等により、センターとして地域の期待に応えるべく、大きく前進が出来たものと確信しています。

## **1 基本を守り事故ゼロへ繋げる運動推進**

安全管理委員会によって掲げられた次の5項目を基本計画とし、事故ゼロを目標に、安全対策の徹底と会員の健康管理に努めました。

- ① **作業前に重点的におこなう安全就業基準の周知徹底**として、7月の「安全就業月間」期間内に開催された『安全講習会』において、警察署による“交通災害の防止”についての講義や、消防署による“傷害事故時の救急処置”についての講習、並びにシルバー保険の担当代理店による“全国のシルバー（高齢者）の重篤な事故発生事例”の発表等、多方面からのアプローチで、事故発生を予防するための安全就業基準の遵守を促しました。
- ② **就業前の安全確認を徹底促進するための巡回活動**として、安全管理委員会にて実施される安全パトロールの実施を、作業前に重点的におこなうことで、事故を未然に防止し現場の安全を確保するための習慣作りを促すと同時に、作業環境の確認として「作業前KY（危険予知）活動表」を活用する重要性の周知徹底をおこないました。
- ③ **リーダーに対する安全意識の向上のための育成**および④**安全就業徹底のための作業現場における的確な判断能力の向上**として、剪定業者の外部専門講師を招き、安全かつ効率的に作業する能力・マナーの向上と、グループで作業する際のリーダーの役割、的確な判断の必要性など、事故が多い剪定・草刈り・除草就業会員を対象として、独自

の講習会を開催致しました。

また、令和3年9月に改定した「樹木伐採の受注不可」「チェーンソーの使用禁止」に引き続き、令和5年度は「脚立にのって作業をする際の足場の位置を2m以内とし、3m以上の樹木の剪定を禁止する」と規程を改定し、高齢化が進む会員の危険作業に制限をかけていくことで安全の確保をおこないました。

- ⑤ **フレイル（加齢に伴う能力の低下）予防と健康づくり推進**として、コロナ禍で一部縮小し実施していた「会員の体力測定会」を全会員対象とし実施会場を拡大。自身の身体能力の自覚を高め、今後の社会参加を続けていくための安全就業へと繋がる体力づくりの推進をしました。

## 事 故 報 告

	件 数	事故発生作業種別
賠償事故	2 件（前年度2件）	草刈り1件，屋外作業1件
傷害事故	2 件（前年度3件）	草刈り1件，屋外作業1件

## 2 適正就業ガイドラインに沿った事業普及啓発

総務委員会が中心となり、継続就業における会員提出書類の見直しや年齢制限の引き上げ、希望の職種制限の緩和など、規程の抜本的な改定に努めました。

また、適正就業に関する規程の制定により、継続就業先の巡回指導を総務委員と事務局が一体となって取り組み、契約内容と就業実態との確認をおこない適正就業の徹底を図ることができました。

### **3 地域のニーズ・会員のニーズに応える就業拡大と提供**

「会員継続更新手続き（会員研修）」時において、会員研修を一部ホームページ等のデジタルで対応することで研修時間を短縮し、事務局と会員が個別にコミュニケーションをとり、就業機会の提供へと繋げる情報共有を図りました。

そのほか、軽作業業務を分かち合い就業とすることで、職域を超えた就業および未就業者の解消等を実現することができました。

### **4 環境に応じた事業の開拓並びに拡充**

取材・撮影・編集など、すべて会員のみで制作し、年2回発行している「シルバー広報にしそのぎ」も12号目の発刊となりましたが、これを手掛ける広報誌編集部会を総務委員会より独立編成。部会員の抜群のセンスと感性を活かした誌面づくりに、各方面の配布先からも好評を得ており、普及啓発の一環として効果を上げております。

一方、会員の情報ツール（周知・普及を目的）としてスタートしたデジタル講習会も、令和5年8月から8カ月間で全会員の40%にあたる165名が受講済みとなり、令和6年度も会員にデジタル技術を理解し、活用する能力を高めて頂くため、継続して講習を開催。今年度中に全会員受講終了を目指しております。

また、当センターホームページにてシルバーに入会出来る“ウェブ入会”と、仕事の依頼が出来る“ウェブ受注”も、順調にスタートすることができ、平日、休日関係なく24時間体制での受付が可能となりました。

## 5 センター組織の更なる強化

昨年までの“コロナ感染症”による人流の制限等により、懇談会を含む地域班自体の活動が休止していたため、令和5年度は久々の地区懇談会開催となりました。会員が意見を自由に述べる事が出来、その声がセンターの運営に取り入れられていくという観点から、地域班による地区懇談会は重要であると位置付けているところですが、現在コロナ流行後に入会した会員数は、現会員全体の45%にのぼっていることで、地区懇談会の趣旨等の周知が不十分となり、会員からの意見交換はごく少数となってしまいました。

令和4年9月に発足した女性の会「さくら咲楽」は、企業との協同によるフェスタへの出店参加や、各種教室・講習会の開催、グランドゴルフ大会への「活動紹介ブース」の出展、シルバー農園事業「グリーンツーリズム」での積極的な協力など、1年を通してバイタリティー溢れる活動を推進しました。また、11月にはその活動の評価もあり、全国各地のシルバー人材センターの女性会員が作品やPRを披露する大イベント『シルボン又全国大会』に参加することが出来ました。

会員互助会であるつどいの会では「ウォーキング」や「ゴルフ」とともに「カラオケ」も数年ぶりに開催され、コロナ禍前の状態へと戻りつつあります。

また、各町グラウンド・ゴルフ協会様のご協力のもと、町民参加型の「第2回シルバー杯グラウンド・ゴルフ大会」を、昨年度に引き続き長与町・時津町にて開催しました。

法人の運営組織の体制づくりとしては、役員と事務局が中心となり情報の共有をすることで、シルバーのさまざまな課題に取り組むことが出来ました。加えて、事務処理においてもデジタル化を積極的に活用し、事務局体制の強化に向けて取り組みを始めました。

# 貸借対照表

令和 6年 3月31日現在

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金	0	0	0
普通預金	9,543,887	8,012,075	1,531,812
未収金	17,421,252	15,891,679	1,529,573
仮払金	24,200	21,450	2,750
立替金	0	0	0
前払金	0	0	0
内部立替金	0	0	0
流動資産合計	26,989,339	23,925,204	3,064,135
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	9,106,199	8,508,843	597,356
減価償却引当資産	5,724,280	5,392,602	331,678
財政運営資金積立資産	2,000,000	2,000,000	0
30周年記念式典事業積立資産	2,226,000	1,908,000	318,000
事務所増改築工事費用積立資産	7,966,000	6,828,000	1,138,000
特定資産合計	27,022,479	24,637,445	2,385,034
(3) その他固定資産			
車輛運搬具	3	3	0
什器備品	1,241,322	1,298,000	△ 56,678
電話加入権	75,396	75,396	0
預託金	16,360	16,360	0
その他固定資産合計	1,333,081	1,389,759	△ 56,678
固定資産合計	28,355,560	26,027,204	2,328,356
資産合計	55,344,899	49,952,408	5,392,491
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	19,535,142	16,332,107	3,203,035
前受金	740,000	742,000	△ 2,000
預り金	22,777	131,196	△ 108,419
仮受金	906	0	906
流動負債合計	20,298,825	17,205,303	3,093,522
2. 固定負債			
退職給付引当金	9,106,199	8,508,843	597,356
固定負債合計	9,106,199	8,508,843	597,356
負債合計	29,405,024	25,714,146	3,690,878
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	( 0 )	( 0 )	( 0 )
(うち特定資産への充当額)	( 0 )	( 0 )	( 0 )
2. 一般正味財産	25,939,875	24,238,262	1,701,613
(うち基本財産への充当額)	( 0 )	( 0 )	( 0 )
(うち特定資産への充当額)	( 17,916,280 )	( 16,128,602 )	( 1,787,678 )
正味財産合計	25,939,875	24,238,262	1,701,613
負債及び正味財産合計	55,344,899	49,952,408	5,392,491

正味財産増減計算書  
令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受託事業収益	203,759,848	206,441,356	△ 2,681,508
受取配分金	173,141,653	176,266,911	△ 3,125,258
受取材料費等	8,111,552	9,092,530	△ 980,978
受取事務費	22,506,643	21,081,915	1,424,728
独自事業収益	728,376	927,696	△ 199,320
受取配分金	376,771	559,356	△ 182,585
受取材料費等	254,507	248,328	6,179
受取事務費	97,098	120,012	△ 22,914
労働者派遣事業等受託収益	3,522,431	3,260,317	262,114
労働者派遣事業等受託収益	3,522,431	3,260,317	262,114
受取会費	860,000	868,000	△ 8,000
正会員受取会費	860,000	868,000	△ 8,000
受取補助金等	32,816,000	32,016,000	800,000
受取連合交付金	16,408,000	16,008,000	400,000
受取町補助金	16,408,000	16,008,000	400,000
雑収益	83,924	128,773	△ 44,849
雑収益	83,924	128,773	△ 44,849
経常収益計	241,770,579	243,642,142	△ 1,871,563
(2) 経常費用			
事業費	233,387,705	232,687,442	700,263
支払配分金	173,893,109	177,291,746	△ 3,398,637
支払材料費等	6,855,836	8,876,076	△ 2,020,240
給料手当	27,640,799	23,683,023	3,957,776
臨時雇賃金	1,418,080	1,133,266	284,814
法定福利費	4,205,979	3,682,787	523,192
退職給付費用	1,606,647	1,680,512	△ 73,865
福利厚生費	167,980	188,104	△ 20,124
会議費	125,472	97,142	28,330
旅費交通費	1,456,730	538,440	918,290
通信運搬費	1,543,514	1,553,702	△ 10,188
減価償却費	296,676	263,885	32,791
什器備品費	582,540	94,644	487,896
消耗品費	784,482	1,177,824	△ 393,342
修繕費	0	0	0
印刷製本費	534,325	878,075	△ 343,750
光熱水料費	323,890	403,163	△ 79,273
賃借料	1,789,715	1,806,673	△ 16,958
保険料	1,497,059	1,889,788	△ 392,729
諸謝金	595,000	158,268	436,732
租税公課	2,600,200	856,000	1,744,200
支払負担金	35,000	0	35,000
組織活動助成費	978,506	1,251,087	△ 272,581
委託費	3,886,792	4,521,250	△ 634,458
訓練委託費	48,000	40,000	8,000
支払手数料	0	0	0
雑費	521,374	621,987	△ 100,613

正味財産増減計算書  
令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
管理費	6,681,261	5,337,552	1,343,709
役員報酬	1,200,000	1,200,000	0
給料手当	1,482,183	1,058,525	423,658
法定福利費	416,039	351,803	64,236
退職給付費用	150,991	120,365	30,626
福利厚生費	18,418	19,118	△ 700
会議費	311,358	22,569	288,789
役員等旅費交通費	169,800	190,200	△ 20,400
旅費交通費	338,230	7,960	330,270
通信運搬費	144,976	208,614	△ 63,638
減価償却費	35,002	42,464	△ 7,462
什器備品費	1,210	10,516	△ 9,306
消耗品費	57,102	65,663	△ 8,561
修繕費	0	0	0
印刷製本費	573,540	363,825	209,715
光熱水料費	35,969	44,780	△ 8,811
賃借料	120,399	120,993	△ 594
保険料	83,452	85,273	△ 1,821
租税公課	453,512	340,562	112,950
支払負担金	298,500	277,800	20,700
委託費	410,998	424,748	△ 13,750
雑費	379,582	381,774	△ 2,192
経常費用計	240,068,966	238,024,994	2,043,972
評価損益等調整前当期経常増減額	1,701,613	5,617,148	△ 3,915,535
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	1,701,613	5,617,148	△ 3,915,535
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	0	0	0
車両運搬具売却益	0	0	0
退職給与引当金戻入	0	0	0
退職給与引当金戻入	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産売却損	0	0	0
固定資産除却損	0	0	0
車両運搬具除却損	0	0	0
什器備品除却損	0	0	0
過年度損失修正	0	0	0
過年度減価償却修正	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	1,701,613	5,617,148	△ 3,915,535
一般正味財産期首残高	24,238,262	18,621,114	5,617,148
一般正味財産期末残高	25,939,875	24,238,262	1,701,613
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
(1) 収益			
収益計	0	0	0
(2) 費用			
費用計	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	25,939,875	24,238,262	1,701,613